

さわがれていた。

私はスポーツ好きであり、ましてゴルフそのものに何のうらみもない。人による好きこのみは別として、スポーツについては優劣の評価などすべき筋合のものではないと思っている。ただ問題があるとすれば、大げさすぎる表現だが、その社会的意義である。今日、スポーツは人びとの健康、楽しみ、そして増大する余暇のなかで図りしれない重要性をもっているだけに、その意義を広い観点から考えてみる必要が痛感される。その意味で会員権が利殖の手段になっているとか、一回のゴルフ場行きに相当な金がかかるとか、一部では接待や饗応の具とされているとか、さては「朝も早よから耳かきさげて、芝生歩くも宮つとめ」と、ざれ歌にうたわれような、国民一般の健全なスポーツのあり方とはおよそ縁の遠い話

も一応、関係者の問題として限定するとしても、つぎの二つの点だけは指摘しておきたい。

一つはゴルフ場による自然破壊である。保安林や田畑までがどしどしつぶされ、富士山麓のヒノキやスギが丸坊主にされた例もある。芝生の敷きつめたゴルフ場を自然の美しい場と考えたら大間違いである。むしろ、ほうっておけば自然のサイクルによって美林の育つ日本の風土に、芝生を張り、これを見事にキープしていくこと自体、無理なこと、そのため相当の金と人手を投入した人工管理となる。結局ゴルフ場とは、芝以外の生物の生存権を認めぬ人工的なやせ地づくりにはかならない。

事実の紹介で問題を提起した昨年、東京都のある区で、子供のための公園を作るための資料として、区内の小・中学生にアンケート調査を行なった。その調査結果によると、子供たちの抱く理想的公園像は、山と谷が、小さな流れが、斜面が、そして広場があるところ。公園に欲しい施設は、なんと、迷路であり、トンネルであり、丸太小屋である。子供たちはこんな公園で、木登り、綱渡りをし、存分に自転車乗り廻したいと望んでいる。子供は自然環境のなかで体をうごかし、冒険をし、あばれたくて仕方がない。

同時に求めた父母の声は、公園の塀は金網張りに、園内ではバットは使用禁止など、すべて子供の身の安全第一である。どちらの願いも切実で胸がしめつけられる思いだが、いずれもかなえられていない都市環境の現実をみると、ゴルフ・プールの反省と大人のなすべきことは自ら明らかであろう。

油の海の象徴するもの

宇田道隆

(東京水産大名誉教授)



一九七四年タンカー雄洋丸の東京湾内衝突、同年末に水島石油タンク四・四万トン流出で内海東部の汚染損害百数十億円、一九七五年一月マラッカ海峡祥和丸座礁で油四千トン流出が国際海峡通航規制、補償に発展。今後も統出のおそれが濃い。何故起こったか、如何にして今後の事故を未然に防げるかが問題である。

前記事件に共通なのは、安全病、致死にならぬうちは一部のステムに切り換える勇断がなければ、死の教訓である。

め」と、ざれ歌にうたわれよう
な、国民一般の健全なスポーツ
のあり方とはおよそ縁の遠い話

を認めぬと同様、一部のゴルフ
族以外の立入禁止の場である。
これについては、つぎのような

子供の身の安全第一である。ど
ちらの願いも切実で胸がしめつ
けられる思いだが、いずれもか

故起こったか、如何にして今後
の事故を未然に防げるかが問題
である。

前記事件に共通なのは、安全
性を収益の思惑から軽視し、ギ
リギリの綱渡りを強いて、かえ
って大損を招いたという点であ
る。世界最大の原油流失九万ト

病、致死にならぬうちには一部
の収益の保全のために問題にされ
ない。一体こうした風潮は何時
からか？

ステムに切り換える勇断がなけ
れば覚つかない。すなわち、汚
染物質を故意に放出したり、海
中投棄したりを厳禁し、勿体な
い資源浪費を敢えてしながら輸
入で間に合わそうとする従来

油の海の象徴するものは破滅、
死の教訓である。

ン余というトレー・キャニオン

明治維新後には福沢諭吉や渋沢

安易な方策を一擲することであ

世は逆さま？

号事件の英国プリマス海洋研究

栄一など「士魂商才」を唱え、社

今に輸入杜絶で大騒ぎしなけれ

芳賀紱

(東工大教授)



も、前記事件でも全く活かされ
ず、有害中和洗剤をバラまくだ
とを性懲りなく反復している。

その背後にあるキリスト教清教
徒的な精神を全く無視した。商
魂商才に徹底した人々は、猛烈

日本が海で囲まれていて、未
利用の天然のエネルギーで災害
ばかり蒙っているのを忘れてい

昨年夏、サンケイ新聞が
「討論/自由」 というシリ
ズを長期間連載し、筆者もその
うちの十回か、討論に参加し
た。

海洋開発、沿岸開発の安全性
はもっと厳しく点検、吟味され
ねばならない。原発の安全宣伝

「金権万能」を貫くため手段を
えらばぬ奇計を凝らし、その結
果は国際的に不評を招き、国内

海潮流、風力、地熱、地震、台風
等々のエネルギーを水素エネル
ギーに転換し、貯蔵、輸送すれ

その連載期間中に、一枚のは
がきが舞い込んだ。住所姓名不
明。四十一歳と記してあり、男
性らしい。——サンケイはど
ういう新聞か知っているか、か
くしかじかか(と事例をあげ
て)の偏向をしている、左の意
見はしめ出している、そんなと

れば大惨事を招く欠陥を暴露し
た。われわれが日常口にする食
品や家畜飼料(間接食品)に有

今の内閣は事態の改善、イン
フレ退治を指向しているが、よ
ほど抜本的な手法、産業の組み
直しによる資源活用再生循環シ

立てた都市に改めることである。

毒物が含有されているのに、発

直しによる資源活用再生循環シ

た。

見はしめ出している、そんなと